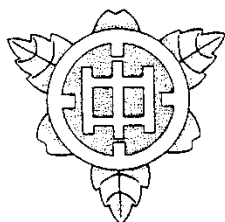


学校だより



10月号

令和8年9月30日

さいたま市立田島中学校

〒338-0837

さいたま市桜区田島 10-13-1 TEL 048(864)3451

<http://tajima-j.saitama-city.ed.jp/>

【学校教育目標】

きれいな学校・調和のとれた人づくり

○自ら学ぶ生徒（知性を磨く）

○心豊かな生徒（感性を研ぐ）

○活動力のある生徒（体を鍛える）

挑戦を経て感じる決意

校長 縫 正也

爽やかな秋風を感じる季節となりました。9月下旬から令和8年度新人体育大会が始まりました。これまで先輩方とともに練習を重ねてきた1・2年生にとって、自分たちが中心となった新チームで臨む最初の大きな大会です。夏休み中も暑さに負けず練習に取り組み、仲間と励まし合いながら努力を積み重ねてきた成果を発揮する舞台でもあります。

試合では、勝利を目指して全力でプレーする姿はもちろん、仲間を励ます声、最後まであきらめずにボールを追いかける姿、苦しい場面でも前を向こうとする姿が数多く見られました。思うような結果を得られたチームもあれば、あと一步届かず悔しい思いをしたチームもあったことでしょう。しかし、その一つ一つの経験が、生徒たちを大きく成長させる貴重な財産になると感じています。



少し話はそれますが、9月27日(日)にトヨタアリーナ東京で開催されたボクシングの世界タイトルマッチを観た方はいらっしゃいますか。世界王者の井上拓真選手に、那須川天心選手が挑戦した注目の一戦でした。結果是那須川選手の惜敗となりましたが、私の心に強く残ったのは試合後の姿でした。全力を尽くして戦い抜いた末に見せた悔し涙には、勝敗を超えた重みがありました。

世界的な舞台で活躍するトップアスリートであっても、負ければ悔しい。その悔しさを真正面から受け止め、自分自身をさらに高める力へと変えていこうとする姿勢に、強い意志と覚悟を感じました。そして、その姿は新人体育大会に臨んでいる本校の生徒たちにも通じるものがあるように思います。

新人体育大会でも、思うような結果を残せた生徒もいれば、悔しい思いをした生徒もいることでしょう。しかし、本当に大切なのは勝敗そのものではありません。目標に向かって努力したこと、仲間と支え合ったこと、最後まで挑戦し続けたこと、そして思うような結果にならなかった悔しさを「次こそは」という新たな決意につなげることです。人は成功だけで成長するのではなく、悔しさや失敗から多くのことを学びます。悔しさは決して後ろ向きな感情ではありません。自分を見つめ直し、次の一步を踏み出すための原動力となるものです。新人体育大会はゴールではなく、新たなスタートです。今回の経験を糧として、それぞれが次の目標に向かって歩み続けてほしいと思います。悔しさという名の種を大切に育てながら、生徒一人ひとりがさらに大きく成長していくことを期待しています。